

令和4年三重県議会定例会

医療保健子ども福祉病院常任委員会

説明資料

【 所管事項説明 】

- | | 頁 |
|---------------------------------|---|
| 1 三重県病院事業 中期経営計画 令和3年度の実績成果について | 1 |

令和4年6月22日

病院事業庁

1 三重県病院事業 中期経営計画 令和3年度の実績について

◀ 病院別の取組成果 ▶

こころの医療センター

中期経営計画における令和3年度の実績

目 標 項 目	R1 実績	R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標
(1) 精神科救急・急性期医療の提供					
精神科救急患者受入件数 (件)	186	154	230	178	230
(2) 専門的医療の提供					
認知症入院患者数 (人/日)	37.1	28.7	40.0	26.4	40.0
アルコール依存症入院患者数 (人/日)	35.1	25.9	30.0	19.4	30.0
精神科早期介入対応件数 (件)	160	173	200	235	200
(3) 地域生活を支えるための支援					
デイケア・ショートケア延べ患者数 (人)	10,972	8,474	12,500	9,911	12,500
訪問看護延べ患者数 (人)	4,784	4,161	5,000	4,231	5,000
入院後1年以内の患者退院率 (%)	96.1	93.8	95.0	100.0	95.0
障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 (件)	6	7	8	8	9
こころしっとこセミナー開催件数 (件)	48	28	35	35	35
(4) 人材育成の充実					
研修医・看護実習生等受入延べ人数 (人)	2,292	1,904	2,200	1,835	2,200
人材育成研修回数 (回)	5	5	5	6	5
(5) 業務改善の推進					
危機管理研修等参加率 (%)	94.7	99.6	93.0	99.7	94.0
患者満足度 (%)	83.0	86.2	94.3	87.4	94.3
(6) 経常収支比率・医業収支比率の向上					
経常収支比率 (%)	97.7	110.6	102.6	127.5	101.6
医業収支比率 (%)	67.8	58.8	63.4	55.2	62.8
(7) 患者数の確保に向けた取組					
1日平均入院患者数 (人/日)	264.3	222.8	250.0	190.6	230.0
1日平均外来患者数 (人/日)	215.8	178.5	200.0	184.3	200.0
(8) 医師・看護師の確保					
医師充足率 (%)	94.9	84.2	100.0	79.8	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

令和3年度の実績

○新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」)への対応については、入院病床を確保して精神疾患等を有する感染患者(疑い患者を含む。)を受け入れました。また、宿泊療養施設や臨時応急処置施設に医療人材を派遣しました。

- 「三重県精神科救急医療システム」の支援病院として、休日・時間外などの救急患者の受け入れ（178件）や保健所からの要請による措置診察（77件）に対応しました。また、患者のニーズに対応するため、救急・急性期病棟を中心に個室の拡充を進め、受入体制を充実させました。（R3：81室→93室（+12室））
- 認知症治療の充実を図るため脳神経内科専門医を配置（令和3年1月）し、もの忘れ専門外来（週3日、延べ1,234人）や専門病棟（入院26.4人/日）による治療を提供しました。
- アルコール依存症治療においては、専門性の高いプログラムを用いた入院治療等（入院19.4人/日、外来延べ3,040人）を提供しました。また、ギャンブル依存症治療においては、全6回（月1回）からなる回復プログラム（集団プログラム）の運用を開始しました。（令和3年10月～）
- 院内に設置しているユース・メンタルサポートセンター（YMSC）MIEにおいて、若年層やその家族等からの相談（新規235件）に対応するとともに、学生、教員、保護者や関係機関を対象に研修会（10回）を実施しました。
- 患者の地域における生活を支援するため、外来患者に対するデイケア・ショートケアサービス（延べ9,911人）や、入院患者に対するリハビリテーションとしての作業療法（延べ17,774人）、在宅療養支援のための訪問看護サービス（延べ4,231人）を提供しました。
- 精神科専門医の育成及び将来的な医師確保を図るために策定（令和2年10月）した精神科専門医研修プログラムにおいて、専攻医2名を受け入れました。
- 決算においては、新型コロナの影響により患者数が減少し、医業収益が減少しましたが、年間を通して病床を確保したことから、これに係る国からの交付金（医業外収益）が増加し、経常損益は黒字となりました。（経常損益：R2 +336百万円→R3 +879百万円（+543百万円））

残された課題、今後の取組方向

- 精神科救急・急性期医療では、今後も救急患者の受け入れや措置診察の要請に的確に対応します。また、更なる個室化の検討を引き続き進めるとともに、新型コロナの収束後や新興感染症等の拡大に備えた平時からの体制を整備するため、病床再編の検討・準備を進めます。
- 認知症治療については、専門外来と専門病棟による切れ目のない効果的な治療を引き続き提供するとともに、関係機関と連携しながら認知症治療が必要な患者を積極的に受け入れるなど、患者数の増加に向けて取り組みます。
- アルコール及びギャンブルに係る依存症治療については、それぞれの治療拠点機関として、専門プログラムに基づいた治療や研修・普及啓発に取り組みます。
- デイケアサービスについては、新型コロナの今後の状況もふまえながら、引き続き利用者の日常生活や就労面への支援を行います。
- 専門医研修プログラムにより精神科専門医の取得を希望する専攻医を積極的に受け入れて人材育成に取り組むとともに、将来的な医師の確保につなげます。
- 新型コロナの影響などにより患者数が減少し、入院・外来収益が減少していることから、病床管理の徹底や医療・福祉関係機関との連携の強化などにより患者数の確保を図り、経営改善に取り組みます。

一志病院

中期経営計画における令和3年度の目標と実績

目標項目	R1実績	R2実績	R3目標	R3実績	R4目標
(1) 地域医療の推進					
訪問診療、訪問看護等延べ患者数 (人)	4,571	4,938	4,700	5,007	4,800
住民健診、人間ドック、がん検診受検者数 (人)	1,470	1,361	1,400	1,068	1,400
救急患者受入件数 (件)	1,271	877	1,000	740	900
医療過疎地域等への支援件数 (件)	9	4	7	3	5
多職種連携による取組件数 (件)	30	13	20	10	15
(2) 人材育成の充実					
初期研修医・医学生受入延べ人数 (人)	460	318	500	415	500
看護実習生等受入延べ人数 (人)	341	48	330	303	330
学会、研修、カンファレンス等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進					
学会、論文等発表件数 (件)	43	10	30	20	30
(4) プライマリ・ケアセンターへの支援					
プライマリ・ケア研修会開催件数 (件)	2	3	3	3	3
(5) 業務改善の推進					
夢プロジェクト開催回数 (回)	12	12	12	12	12
危機管理研修等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
患者満足度 (%)	98.0	99.0	96.6	95.0	96.6
(6) 経常収支比率・医業収支比率の向上					
経常収支比率 (%)	117.6	120.0	109.6	117.3	106.3
医業収支比率 (%)	78.9	76.6	73.3	74.0	70.0
診療報酬検討会開催回数 (回)	12	12	12	12	12
(7) 患者数の確保に向けた取組					
1日平均入院患者数 (人/日)	37.1	36.3	38.0	34.8	36.0
1日平均外来患者数 (人/日)	79.0	74.5	76.0	71.1	72.0
(8) 医師・看護師の確保					
医師充足率 (%)	76.8	80.1	100.0	95.8	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

令和3年度の実績

○新型コロナへの対応については、後方支援病院として、退院基準を満たした回復患者を受け入れました。また、宿泊療養施設や臨時応急処置施設に医療人材を派遣したほか、検査、発熱外来、ワクチン接種を実施しました。

- 地域の幅広い医療ニーズに対応できるプライマリ・ケアを実践するとともに、通院が困難な患者に対する訪問診療(延べ1,091人)や訪問看護(延べ3,161人)、訪問リハビリテーション(延べ697人)等の在宅療養支援、住民健診(491人)や人間ドック(107人)、がん検診(470人)等の予防医療に取り組みました。
- 初期救急医療を担う医療機関として24時間365日の救急受入体制のもと、救急ホットライン(消防から医師への直通電話)や外来ホットライン(診療所等から日当直看護師への直通電話)も活用しながら、救急患者(740件)を受け入れました。
- 地域における保健・医療・福祉の連携会議や健康啓発事業等の様々な活動を通じて多職種連携の強化を図り、地域包括ケアシステムの構築を支援しました。
- 令和3年11月に院内に認知症看護認定看護師による「もの忘れ相談室」を設置し、入院・外来患者からの認知症に係る相談(9件)に対応しました。
- 総合診療医の育成拠点として、初期研修医(延べ42人)、医学生(延べ373人)等を受け入れ、一志病院の診療圏をフィールドにした実践的な研修を提供しました。
- プライマリ・ケアエキスパートナースに係る研修会の開催(3回)等を支援し、新たに6名(県内4医療・介護機関、うち一志病院2名)を認証しました。
- 決算においては、新型コロナの影響により入院・外来の患者数が減少したものの、新型コロナに係る検査に対応したこと等による診療単価の増や、訪問診療・訪問看護等の在宅療養支援の増により、医業収支比率は目標を達成し、経常損益は9年連続の黒字となりました。(経常損益: R2 +178百万円→R3 +156百万円(△21百万円))

残された課題、今後の取組方向

- 引き続きプライマリ・ケアの実践、訪問診療等の在宅療養支援、住民健診等の予防医療の提供に取り組むとともに、予防医療については、住民健診後の特定保健指導の実施に向けた検討を進めます。
- 消防機関や診療所等と密接に連携しながら、24時間365日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献します。
- 県内における総合診療医育成の中心的な役割を担うとともに、多職種連携の要となるプライマリ・ケア人材の育成に取り組めます。
- 「もの忘れ相談室」で対応した患者を、必要に応じて津市の認知症支援チームにつなぐなど、白山・美杉地域における地域包括ケアシステムの構築に向け連携して取り組めます。また、津市の委託を受けて病児・病後児保育事業を開始します。(令和4年10月～)
- 電子カルテシステムの導入により院内手続きのデジタル化を推進し、待ち時間の短縮など更なるサービスの向上につなげます。
- 新型コロナの影響などにより患者数が減少していますが、訪問診療など在宅療養支援のニーズは増加しており、引き続き地域の医療ニーズに沿った医療を提供しながら健全な経営を続けます。

志摩病院

中期経営計画における令和3年度の目標と実績

目標項目	R1実績	R2実績	R3目標	R3実績	R4目標
(1) 診療機能の回復・充実					
1日平均入院患者数 (人/日)	194.2	172.7	201.0	167.9	187.0
1日平均外来患者数 (人/日)	296.4	254.4	301.0	254.8	291.0
1か月平均救急患者数 (人/月)	386.1	249.5	529.0	277.8	401.5
患者満足度 (%)	75.2	71.0	85.0	65.5	※95.0

※他病院との整合を図るため、令和4年度から目標項目を「患者満足度」に変更

令和3年度の取組成果

- 新型コロナへの対応については、入院病床を確保して感染患者を受け入れました。また、宿泊療養施設や臨時応急処置施設に医療人材を派遣したほか、検査、発熱外来、ワクチン接種を実施しました。
- 入院診療については、一般病棟・地域包括ケア病棟・精神科病棟を運用して多様な医療ニーズに対応したほか、救急医療についても内科系患者の24時間365日の受入れを継続しましたが、患者数は同様に新型コロナの影響を受けた前年度並みとなりました。

残された課題、今後の取組方向

- 引き続き志摩地域の中核病院としての役割・機能を担っていけるよう、指定管理者と密接に連携し、地域の医療ニーズをふまえながら診療機能の充実に取り組みます。
- 外科系救急について、本年6月から平日週3日から週5日に拡充しました。

県立病院課

中期経営計画における令和3年度の目標と実績

目標項目	R1実績	R2実績	R3目標	R3実績	R4目標
(1) 経常収支等の向上に向けた支援					
経常収支比率 (%)	101.9	112.3	104.0	124.7	102.6
医業収支比率 (%)	68.4	61.2	65.6	58.0	64.4
(2) 医師・看護師の確保					
医師充足率 (%)	89.3	85.6	100.0	85.8	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3) 患者満足度の向上					
患者満足度 (%)	90.8	92.4	95.0	90.6	95.0

※いずれもこころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値